

会社概要 (2025年9月30日現在)

商号	株式会社 鶴見製作所
大阪本店	〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 TEL: 06-6911-2351 (代)
東京本社	〒110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号 TEL: 03-3833-9765 (代)
創業	1924年1月5日
設立	1948年2月12日
資本金	51億88百万円
代表者名	代表取締役社長 辻本 治
従業員	1,606名(グループ計) (注)従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日休日を除く)
公告方法	当社のホームページに掲載します。 https://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

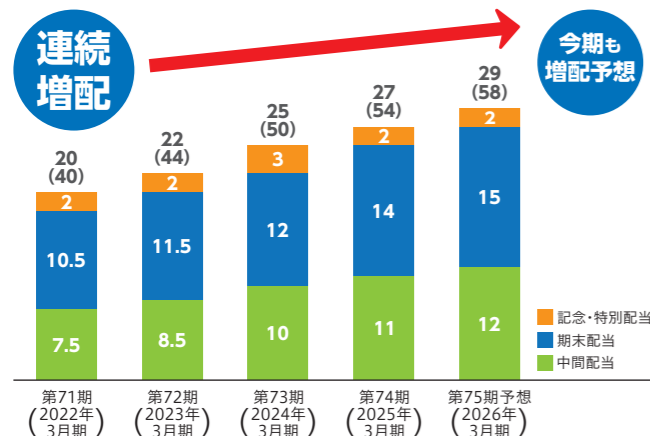
株主還元

当社は、長期的な視野に立った積極的な事業展開に備えたキャッシュ・フローを確保しつつ、株主還元として安定配当を行うことを資本政策の基本的な考え方としております。2026年3月期の中間配当につきましては、普通配当の24円に加え、アロイテクノロジー南部町事業所新製造工場竣工を記念し、記念配当として2円を加算しております。

2026年3月期の中間配当金は以下のとおりです。

配当金額	1株あたり 26円 (うち記念配当2円)
効力発生日ならびに支払開始日	2025年12月10日 (水)

【ご参考】1株当たりの配当金額の推移 (円)



・2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 ・第71期(2022年3月期)の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。
 ・()は株式分割前の金額を記載しております。
 ・2026年3月期期末配当予想には、記念配当による増配1円が含まれております。

株式情報

株式の状況 (2025年9月30日現在)

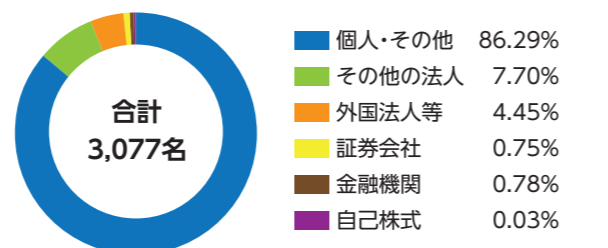
発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式の総数	25,413,486 株
株主数	3,077 名

大株主

株主名	持株数(千股)	持株比率(%)
株式会社 T's コーポレーション	1,775	7.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,771	7.37
ツルミ 共栄会	1,647	6.86
株式会社三井住友銀行	1,120	4.67
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,013	4.22
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	813	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	700	2.92
デンヨー株式会社	648	2.70
株式会社ダイコウ	579	2.41
有限会社ツルミ興産	547	2.28

(注)当社は自己株式1,399千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



直近の当社メディア掲載情報

2025年9月29日 日経CNBC「ものづくりの挑人たち」

※近年注目されている下水道分野の課題を背景に、「スマッシュポンプBN型」が実際に使用されている現場の様子、現場の声そして製品開発に至るまでの経緯が詳しく紹介されました。

番組内では、私たちが大切にしている「現場の声に寄り添った製品づくり」や、「技術力による社会課題への貢献」といった取り組みについても取り上げられていますので、ぜひご覧ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス 底に責任ある森林管理を支えています FSC® C018104

環境に優しい植物油インキを使用しています。

For The Earth, For All The People

地球のために、かかわるすべての人のために

鶴見製作所 証券コード：6351

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第75期の中間報告をお届けいたします。ご一読のほどよろしくお願い申し上げます。

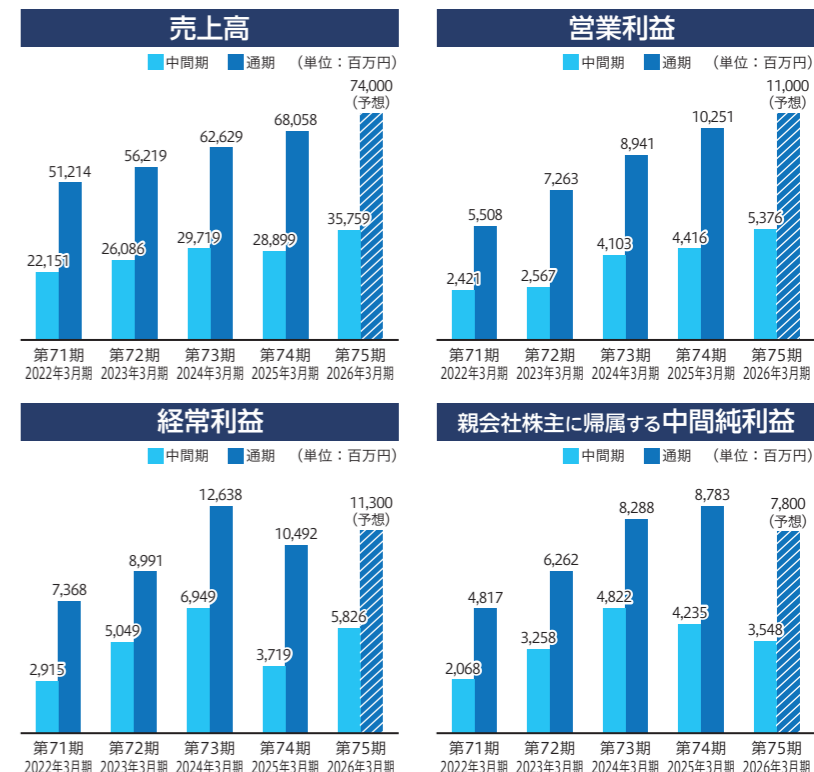
2025年12月 代表取締役社長 辻本 治

2026年3月期 第2四半期(中間期)の連結業績ハイライト

売上高	357億円	前年同期比 +69億円
営業利益	53億円	前年同期比 +9億円
経常利益	58億円	前年同期比 +21億円
親会社株主に帰属する中間純利益	35億円	前年同期比 -7億円

中間期決算のポイント

- 一部地域を除いて売上高が増加し、連結業績も堅調に推移しました。なお、ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.を前年第三四半期より損益連結の対象に加えております。
- 前年同中間期においては特別利益として段階取得に係る差益17億円を計上していましたが、当期においては計上はありませんでした。



部門別売上構成比率	
国内部門	55.3%
海外部門	44.8%
合計	35,759 百万円
国内部門	19,751 百万円 (55.3%)
海外部門	16,008 百万円 (44.8%)
国内部門	15,756 百万円 (44.0%)
海外部門	20,003 百万円 (56.0%)

- 国内部門**
 - 建設機械市場：環境配慮で需要増も、コスト高と人手不足で市場は微減
 - 設備機器市場：高効率で優れた異物通過性能を持つスマッシュポンプが注目され、売上伸長に貢献
- 海外部門**
 - 北米地域：鉱山市場向けや鉄鋼市場向けの需要が堅調に推移し売上高は増加
 - アジア地域：タイ・ベトナムでの設備市場向けの需要も堅調だったが、売上高はほぼ横ばい
 - 欧州地域：トンネル工事などのインフラ需要は増加したが、ドイツ建設市場は低迷
 - その他地域：中国での不動産不況や米中貿易摩擦等により、売上高は微減

より詳細な決算情報は、右記のQRコードよりアクセスいただき、当社のIRニュース一覧からご覧いただけます。





■ 当第2四半期（中間期）の業績について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善などがあった一方で、原材料価格の高止まりや人手不足問題、物価上昇継続による消費者マインドの低下などの要因により、また世界経済は米国の関税政策による市場の混乱、中東情勢の緊迫化やウクライナ情勢の長期化といった地政学リスクの高まり、中国経済の減速などの要因により、国内外における景気の先行き不透明感が強まっております。

このような状況の中で、国内におきましては高効率で優れた異物通過性能を持つスマッシュポンプへの注目度が高まり、同製品シリーズは、道路陥没復旧工事に伴う切り直し工事などにおいて、低水位連続運転が可能であることも評価され市場全体の売上伸長に貢献し、売上高は増加しました。海外におきましては、北米市場での鉱山市場向けや鉄鋼市場向けの需要が堅調に推移したこと、アジア市場でも日本セグメント同様にスマッ

シュ機構を搭載した高効率水中ポンプの受注が拡大したこともあり、海外における売上高は増加しました。これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、一部地域を除いて売上高が堅調に推移したこと、また、ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.を前年同中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結対象としていたことなどにより、357億59百万円（前年同期比23.7%増収）、営業利益は欧州地域におけるのれんの償却額及び顧客関連資産償却費の計上があったものの、増収効果や為替市場で円安が進行したことなどにより53億76百万円（前年同期比21.7%増益）、中間期末にかけて円安で推移したことで経常利益は58億26百万円（前年同期比56.7%増益）、前年同中間連結会計期間において特別利益に段階取得に係る差益1,721百万円を計上しておりましたが、当中間連結会計期間では特別利益の計上がなかったことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は35億48百万円（前年同期比16.2%減益）となりました。

■ 新拠点の開設について

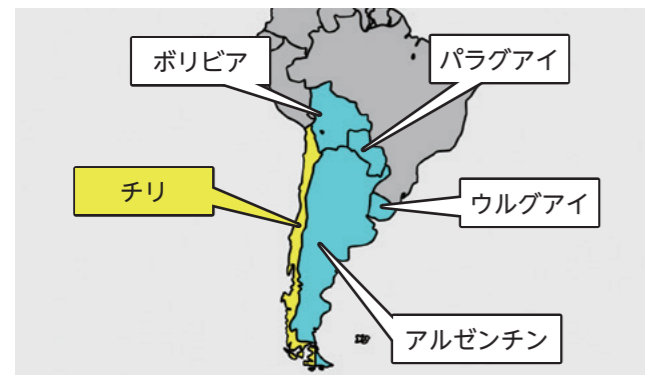
当社は、グローバル市場での成長を一層加速すべく、チリ共和国に現地法人「Tsurumi Pump Latin America SpA」を、タイ王国に東南アジア（液封式真空ポンプ）駐在員事務所「Southeast Asia (Liquid Ring) Representative Office」を開設いたしました。これは、当期で2年目となる中期経営計画「Transformation 2027」の基本方針の一つ、「深化～既存事業の深掘り～」におけるグローバル事業拡大の一環でもあります。

チリ共和国での現地法人設立は、当社にとって初の南米地域への進出となります。同国の主要産業である鉱山市場の開拓に加え、建設、水処理などの社会インフラ市場への、当社の主力製品である水中ポンプによる貢献を通じて、南米でのシェア拡大に取り組んでまいります。

一方、タイ王国では2007年の現地法人設立以来、水インフラ関連市場を中心に着実な成長を遂げております。今回新たに開設したタイ駐在員事務所では、液封式真空ポンプや圧縮機を軸に、石油化学、発電及び再生可能エネルギーなど多様な分野への展開を図り、さらなる市場開拓を推進してまいります。

これら両国での新拠点開設を足がかりとして、南米および東南アジアの周辺国でのさらなる事業拡大も視野に、グローバルな成長戦略を推進し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

（ご参考）チリ現地法人並びにタイ駐在員事務所を基盤に周辺国も含めた事業エリアを図示しています。



【チリ現地法人の事業エリア】



【タイ駐在員事務所の事業エリア】

■ 水インフラの課題解決に貢献するスマッシュポンプ



日本の水インフラには様々な課題があります。

- ・ 下水管などの設備の老朽化と更新の遅れ
- ・ 頻発するゲリラ豪雨への対策
- ・ 人口減少・過疎地域の維持管理
- ・ 温暖化・CO₂削減

当社は、水中ポンプをはじめとした様々な水処理機器のラインナップで日本と世界の水インフラの課題解決に貢献します。

他社にはない、ツルミの独自技術。スマッシュポンプのここがすごい!!
2つの社会課題の解決に寄与します。

① 社会課題・・・人手不足・省人化

対応するツルミの技術力=革新的な異物通過性能

生活環境の変化により下水道へマスク・おむつなどが流されるようになり水中ポンプの詰まりと、それを解決する維持管理業者の負担が大きな課題となっております。ツルミ独自のスマッシュ機構により下水道に流れ込む様々な軟弱異物を通過させることができます。

異物通過
試験動画は
こちら ▶



日経CNBC「ものづくりの挑人たち」にも取り上げられました。詳細は裏面の【直近の当社メディア掲載情報】をご参照ください。

② 社会課題・・・気候温暖化・CO₂削減

対応するツルミの技術力=高効率性

地球温暖化の進行を抑制するため、世界中でCO₂の削減が求められております。ツルミ独自のスマッシュ機構により従来型の汚物用水中ポンプと比較して効率的に水を揚水することができます。そのため、スマッシュポンプへ入替を行うと運転時間が削減でき電気代の削減、ひいてはCO₂の削減につながります。

（地方自治体様への納入事例）
1.5kWの従来型汚物用水中ポンプをスマッシュポンプへ更新し、運転時間が25%削減になりました。

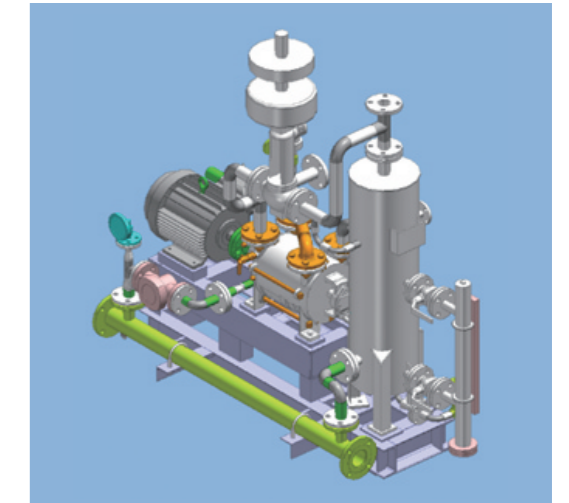
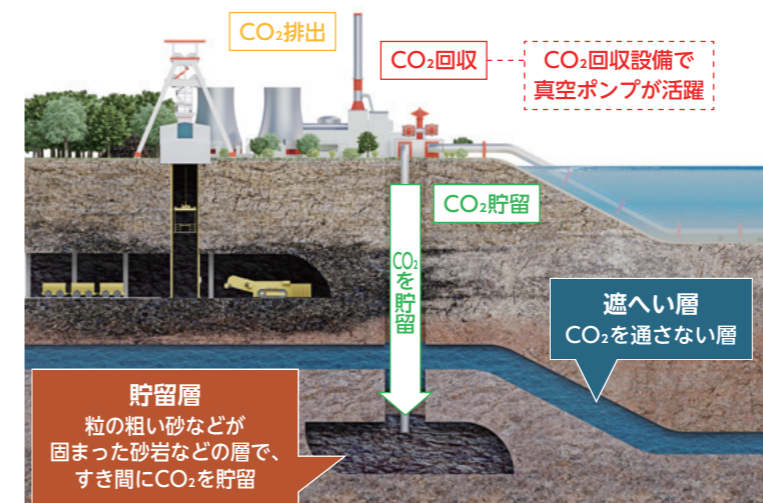


■ カーボンニュートラルに貢献する液封式真空ポンプ

地球温暖化の原因のひとつといわれる二酸化炭素（CO₂）。その削減は、世界的にも重要な課題となっております。

発電所や工場から排出されるCO₂を分離・回収し、地中深くに貯留することで、大気中への放出を抑制するCCS_※技術の研究開発が進んでいます。この度、国内企業様向けに同技術のベンチ試験で使用されるCO₂回収用真空ポンプをご採用いただきました。

当社では将来の社会実装に備えて、大型真空ポンプの開発にも取り組んでいます。



【納入機器仕様】
型 式：40VMWP45.5A
吸込圧力：18kPaA
出 力：5.5kW

※「CCS」とは、「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で、「二酸化炭素回収・貯留」技術と呼ばれます。